ぎんまい長岡京

長岡京吟詠会　会報
第66号　令和6年8月1日
発行　長岡京吟詠会
会長　本庄賀秀峰

令和６年度「詩吟体験教室」参加者募集中！！

９月７日（土）をスタートに、６回シリーズで開催します。一人でも多くの方にご参加頂き、その後も続けて一緒に楽しみたいと願っています。市内各所にご案内チラシを置いておりますが、会員の皆様からも、是非とも多くの方にお声掛けとお誘いを頂きますよう、お願い致します。

時間は 13:30～15:00、舞塚会館で行います。

受講料は無料です。

学習内容は、発声法・詩吟の基本・吟詠の体験（漢詩、譜節）等。

（詳細は実施要項をご覧ください）

（普及部）

高橋拓来くん5位入賞獲得！！

7月21日（日）アルカイックホールで行われた「第 16 回ジュニア燦々優勝者決定詩吟大会」で、高橋拓来くんが京都地区選抜出場し、12 名の決勝吟詠に残り、見事 5 位に選ばれました。正確で、さわやかな吟は、会場の皆さんを魅了するものでした。おめでとうございます！

（広報部）

府連コンクール第２部（指導者級）終わる！

7月14日（日）ラボール京都於て開催され、
辛嶋賀秀感さんが「入賞」されました。
辛嶋さんは6年連続入賞の快挙です。

（事務局）

詩吟の魅力を伝えましょう！！

わかたけ詩吟クラブ　山口勝弘

伝統芸能である詩吟は、高齢者が圧倒的に多く、若者に関心がうすいのはなぜだろうか。

まず、若者が詩吟に接する機会が少ないこと、なじみにくい漢詩や和歌などが多く意味が理解しにくいこと、親しみのない譜節が登場し自由に吟じられないこと、発表する場が少なく世間では余り目立たないこと、高齢者が中心で若者が入りにくいことなどがあげられる。

そこで、素晴らしい漢詩や和歌が観賞できること、自分らしく吟じる楽しさ、腹式呼吸で大声を出すことで健康を増進しストレスも発散できることなどの魅力をどう伝えるかが課題である。

吟道賀堂流会詩に「宗派を継承して故きを温ぬと雖も、時潮に順応して新を廃せず」とうたわれている様に、吟詠界が伝統を守りながらも出来る事から改革をし、若者が気軽に入れる雰囲気を作る取り組みも必要ではないだろうか。

そして会員のみんなが、まずは身近な人に親切に詩吟の魅力と楽しさを語り広める取り組みを展開してはどうでしょう。詩吟の魅力を伝えましょう。

会員投稿「吟を味わう楽しみ」

福島堂秀怜

本会の詩吟に出会ったのは、私の退職後のことでした。退職者の集会で初めて本格的な詩吟に触れることができました。漢詩自体は、高校時代から好み、友人と白居易の「長恨歌」を暗唱したりして遊んでいました一方では、戦地から帰った父が、『山川草木…』をうなっていたことも思い出深いことでした。

長尾さんに誘われて参加し、横山先生の元で詩吟のお稽古を続けてまいりました。「漢詩」という表現法で「和歌」を詠うことが、和歌の世界に新たな表情をもたらし、豊かに広がる思いがしています。美しく豊かな和歌の世界をこれからも味わいながら歌っていきたいと思っています。

R6/当面の予定

8/3(土)鴨川納涼祭:三条大橋～四条大橋右岸
河川敷中央付近6時 45 分頃
8/11(日)全国吟詠コンクール近畿大会:　大東市民会館
9/7(土)詩吟体験教室「1」:　舞塚会館
9/8(日)第 32 回吟士権者決定大会:
姫路市花の北市民広場
9/15(日)愛連一部:　尼崎市総合文化センター
9/21(土)詩吟体験教室「2」:　舞塚会館
9/22(日)後期資格認定強化練習:　中央公民館講座室
9/29(日)後期京都本部資格認定会　視聴覚室
10/5(土)詩吟体験教室「3」:　舞塚会館
10/13(日)第2回定期発表会
10/19(土)詩吟体験教室「4」:　舞塚会館
10/19(土)府連講演会「吟剣詩舞と伴奏曲」
京都アスニー
10/27(日)吟剣詩舞大会・吟士権大会　こらさ

(事務局)

会員投稿
「私と詩吟との出会い」　山本賀秀枝

私が詩吟をはじめるきっかけとなったのは、18年ぐらい前に我が家のマンションからとった金谷先生のおうちの写真を、金谷先生のお宅にお持ちした時、おうちのすごさに感動して、またおじゃましたばかりに金谷先生が詩吟を教えていらっしゃると聞き、入門させていただいたのがはじまりです。

これまでのお稽古でとくに努力したことは、お腹から声を出すことです。お腹から声を出すと体がすっきりし、元気を感じます。私にとってこれが詩吟の魅力です。

私の今の目標は、金谷先生が90歳で姫路に行かれ、舞台に立たれることを応援しに行くことです。

金谷先生、いつまでもお元気で私に詩吟を教えてください。

シルバー川柳のご紹介

- 老いるとは　こういうことかと　老いて知る
- 居れば邪魔　出かけりゃ事故かと　気をもませ
- 介護され　気付いて悔やむ　親不孝
- 何回も　話したはずだが　「初耳だ」
- 躓いて　何もない道　振り返り

ドーンと発展することを望む!!

櫻澤賀秀櫻

縁あって、詩吟を始めて 11 年程が経過しました。改めて、詩歌吟詠道賀堂流宗家譜節朗吟集定本絶句編を受け取った日付を見ると、平成 25 年 10 月 26 日とありました。

熱心に指導して下さる先生に感謝を込めて自分なりに頑張っていますが、好きな演歌のようにはいきません。演歌はカラオケで採点が出来るし、点数の他にいろいろな注意点も出ますが、詩吟も同じようにできればいいのにと思います。腹式呼吸が健康の為にも良いと聞きますが、それだけでは何か物足りない気がします。ボーイズビーアンビシャス！老人も大志を抱け!!

過日、ラボール京都で第 11 回シニアの部に参加出来た折、子ども 2 人が見に来てくれました。息子は初めてでした。

今更言うまでもなく、一般大衆の観客が客席を埋め尽くす程にするには、まず、NHK のど自慢に出て、詩吟で鐘を三つ鳴らすようにするには、どこを改革しなければならないのか？

内々だけで楽しんでいるのは止めにして、ドーンと発展することを望む次第です。

夢に見てビックリする。

近づけたらと思う。

ほっと一息、休憩タイム
チョキで、「あいこ」なら次はパーを出す

あくまで統計的に有利になる話です。相手がチョキに続いてまたチョキを出す確率は 1/4 で 1/3 より低いので、グーかパーを出す可能性が高い。よって自分はパーを出すのが最良で有利になります。

一般的に 2 人でじゃんけんをして「あいこ」になったら、次に自分は「その手に負ける手」を出すと有利であるということが言えます。

長建

『ぎんまい長岡京』　編集室
編集委員長　後藤賀秀香
編 集 委 員　宮小路、櫻澤、本庄（庄）
※連絡・問合せ先　後藤賀秀香
Tel: 075-331-0241